

講義科目 : 演習	単位数 : 4
担当 : 石原 洋介	学習形態 : 必修科目
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

- ・教員の指導の下、指定したテキストを用い、金融に関する学びを深める。
- ・テキストの各章のまとめと報告を学生が担当し、学生同士で意見交換や議論をすることで、テーマに関する理解を深めるとともにプレゼンテーションやディスカッションの能力を向上させる。
- ・夏季休暇には課外研修を行う。東京にある日本銀行、東京証券取引所等を見学することでそれらの役割と機能の理解を深める。なお、ゼミ希望者には、課外研修参加費の多くが自己負担（一部ゼミ補助あり）になることをあらかじめ承知しておいていただきたい。
- ・ゼミ生には、まとまった分量の文章を論理的に書く能力を養うことを目的として卒業論文を執筆してもらう予定だが、夏季に開催される小論文・作品コンクールへ小論文を提出することをもって卒論の代替とすることを認める。
- ・株式会社や協同組合の仕組みを体験しつつ、企画力・行動力・協働する力を身につけるために、サマフェスまたは大学祭にゼミ単位で参加する。

授業計画

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1) ゼミ内委員決定・年間計画 | 16) 卒業論文指導 |
| 2) 金融とは何か | 17) 大学祭の企画立案 |
| 3) 避難訓練 | 18) アメリカの中央銀行FRB |
| 4) 日本銀行は「銀行の銀行」 | 19) 金融グローバル化時代の日銀 |
| 5) 日本銀行は「政府の銀行」 | 20) 米中金融戦争のはじまり* |
| 6) 日本銀行は「発券銀行」 | 21) 中国・人民元国際化と通貨覇権争い* |
| 7) 紙幣の発行について | 22) 中国の繁栄に果たす香港の役割* |
| 8) 日本銀行の設立 | 23) 通貨送金を巡る米中覇権争い* |
| 9) 夏季課外研修の企画立案 | 24) 為替レートの仕組みと人民元レート* |
| 10) 金融政策の仕組みー公定歩合一 | 25) 米国による為替操作国認定* |
| 11) 日銀の政策委員会 | 26) 米中金融戦争の今後* |
| 12) ゼロ金利政策 | 27) 予備日またはディベート |
| 13) 「異次元」緩和政策 | 28) 卒業論文指導 |
| 14) 景気の動向を監視 | 29) 卒業論文指導 |
| 15) 卒業論文中間報告 | 30) 全体のまとめ |

教材・テキスト・参考文献等

下記のテキストを最初のゼミまでに購入しておくこと。

『改訂新版日銀を知れば経済が分かる』

後期の*がついた回は仮であり、学生と相談して変更する可能性がある。

成績評価方法

平常点およびゼミでの報告、討論への参加意欲、卒業論文または小論文・作品コンクール提出論文の出来などを総合的に評価する。